

- 日産自動車、「NV350キャラバン」および、いすゞOEM「コモ」のエンジン制御コンピュータ(ECU)に不具合があるとしてリコール  
2012年6月16日～2021年12月24日に生産した11万4115台  
OBD(車載式故障診断装置)診断の警告灯点灯の設定が不適切なため、特定の診断項目で異常判定時に警告灯が点灯しないおそれがある。
- 日産自動車、「ノートe-POWER NISMO S」が走行不能となるおそれがあるとしてリコール 2018年8月21日～2020年7月28日に生産した4856台  
リチウムイオンバッテリー内部ヒューズの仕様設定が不適切なため、運転の仕方によっては早期に劣化が促進することがある。そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、ヒューズが溶断し警告灯が点灯するとともに、モータへの電力供給が停止し走行不能になるおそれがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「Cクラス」「Eクラス」「GLCクラス」計29車種について、エアサスペンションに不具合があるとしてリコール  
2014年4月18日～2018年3月22日に輸入した2万1626台  
エアサスペンションのエアコンプレッサにおいて、減圧バルブの材質が不適切なため、錆が発生して作動不良を起こすことがある。そのため警告灯点灯とともに車高調整ができず、最悪の場合、走行中に車高が低下するおそれがある。
- メルセデス・ベンツ日本、「Eクラス」「CLSクラス」計13車種について、バッテリー配線が外れるおそれがあるとしてリコール  
2018年1月29日～2022年9月30日に輸入した1万1008台  
12Vバッテリーの固定方法が不適切なため、事故などの衝突時の負荷に耐えられず、固定場所から動く可能性がある。そのため、バッテリー配線が外れることで、最悪の場合、衝突後の安全機能(緊急通報サービス、電動シート調整、非常点滅表示灯、自動ドアロック解除)が適切に作動しないおそれがある。
- ステランティスジャパン、ジープ「グランドチェロキー」のABS制御プログラムに不具合があるとしてリコール  
2018年8月19日～2019年12月19日に輸入した1177台  
ABSの制御プログラムが不適切なため、ブレーキプレッシャーセンサーからの信号に過敏に反応してしまうことがある。そのため、ブレーキペダルを踏んでないにも関わらずブレーキランプが点灯し、エンジンが始動可能となるとともに、Pレンジからシフト操作が可能となり、車両が動き出すおそれがある。